

門下生傳 （昭和） 評論家。明治二十四年福岡縣生れ（一九〇一）。其母姓爲野。筆名並木傳。大正十一年仙臺の辯護士門下直義の嫡養子となる。第一高等學校を経て、十五年東京帝國大學文學部社會學科卒。在學中新人會の加盟。卒業後東京毎日新聞社入社、傍ら「無産者新聞」編輯の職與じ、日本共產黨の入党。昭和二年三・一五事件（青島一齊大檢舉）の遭ひ、獄中での野成夫、南壽一等と共に轉向、解黨派と稱はれた。譯著書、レーニン著「二月革命」の十一月革命の「關根悅郎共譯、昭和二年十一月二十日マルクス大書房）、『筒煙の中を馳驅して』轉向者・前線皇軍慰問報告」（合著・大坪與一編、昭和十二年二月二十日全日本司法保護專業聯盟）、「司法保護叢書」（、）、「時局とインテリゲンチヤー新日本思想」等のものがある（『昭和十二年四月二十一日全日本司法保護專業聯盟』等）。

